



KASHIWAZAKI

かしわざき

平成 30 年 7 月 20 日 発行

No. 173

発行
柏崎市議会
印刷
柏崎インサツ

市議会だより

ホームページアドレスは <http://www.city.kashiwazaki.lg.jp>



海の大花火大会（市民一同）



民謡流し



たる仁和賀

主な内容

- 議会報告会を開催しました 2～3P
- 市議会とは 4～5P
- 6月定例会議・委員会報告 6～7P
- 議決一覧・賛否一覧 8P
- 一般質問 9～14P
- 政務活動費会計報告 15P
- 全員協議会・編集後記ほか 16P

7月24日(火)から26日(木)まで、ぎおん柏崎まつりが開催されます。例年、まつり期間中は、雨が降るか降らないかを心配することが多いですが、ことしこそ、3日間とも晴れ、全て成功裏に終わることを願っています。

ことしの花火大会は、BSフジで生中継されます。この機会に柏崎の魅力を市外のお知り合いに紹介していただきたいと思えます。

柏崎・夏の風物詩
「ぎおん柏崎まつり」
が始まります

平成30年度第 1 回

議会報告会を開催しました

- ◆日 程：平成 30 年 4 月 23 日(月)、24 日(火)、25 日(水)、27 日(金)
- ◆場 所：市内 12 会場 (各中学校区のコミュニティセンターなど)
- ◆内 容：議会の報告 (平成30年度予算審議など)・意見交換



一番参加者が多かった会場「北鯖石コミュニティセンター」

柏崎市議会では、議会活動や市のさまざまな課題を市民と共有し、議員と市民が気軽に意見を交換する場として議会報告会を、平成25年度から開催しています。

今回は、計4日間で233人の方に御参加いただきました。貴重な御意見をありがとうございました。

主な質疑とアンケート結果は、次のとおりです。

鉄道利用の活性化

問 鉄道等活性化事業については、鉄道利用の促進につながると思わない。無駄である。市議会として、事業終了後に検証をするのではなく、実施前にやめるようにすべきではないか。

答 決算時に事業評価を行っており、平成28年度決算審議の際に、企画列車で鉄道利用者をつややす効果はないと指摘した。ことしは、もっと厳しく評価をしていく。

路線バス確保

問 路線バス確保事業に1億円以上予算計上しているが、バスの小型化や通院・買い物に

便利な運行方法ができないものか。

答 バスの入れかえにも費用がかかり難しい。また、運行方法もさることながら、まずは運転手不足を解消しなければならぬ。

郊外バス利用者への配慮

問 郊外から市街地へ通院・買い物をするには、バス本数も少なく、運賃もかさむ。市内には循環バスがあり、割引制度もある。不公平ではないか。

答 交通の確保は重要である。中心部と周辺部で不公平感があるとの意見を多くいただいている。市議会としては、その不公平感を少しでも解消するため、割引制度を郊外バスや運転免許返納者にも広げるべきと主張している。引き続き議論していきたい。

介護人材不足

問 介護人材が不足しているが、担い手を育てるような事業を市は行っているのか。

答 市では、介護従事者人材確保・育成支援事業や介護職員就職支援事業など、市独自の事業も行っている。

ひきこもりの相談窓口

問 ひきこもりについて困っている市民が多いようだが、どこに相談に行けばよいのか。

答 ことしの 4 月から、市はこころの相談支援課を新設し、教育センター内に「ひきこもり支援センター」を開設した。そちらの窓口相談をしていただきたい。

道の駅「風の丘米山」

問 道の駅「風の丘米山」は、数年前から懸案事項だが、これからどうなるのか。

答 休止中の道の駅「風の丘米山」だが、プロポーザル方式で再整備可能性調査業務委託を 4 月に、一般財団法人電源地域振興センターと契約した。市議会として、この業務委託を見守り、後に検討したい。

空き家問題

問 空き家については、法律改正もあり、従来に比べれば強制力を持って処置できるようになってきているが、今後どのように進めていくのか。

答 確かに、従来に比べれば強制力が増したが、個人の財

政務活動費

問 政務活動費が問題となっているが、柏崎市議会は透明化されているのか。

答 政務活動費を使った視察や研修については、報告書を作成し、概要や所感を市議会ホームページに公開している。また、政務活動費の精算には領収書を添付し、収支報告も市議会ホームページで公開している。

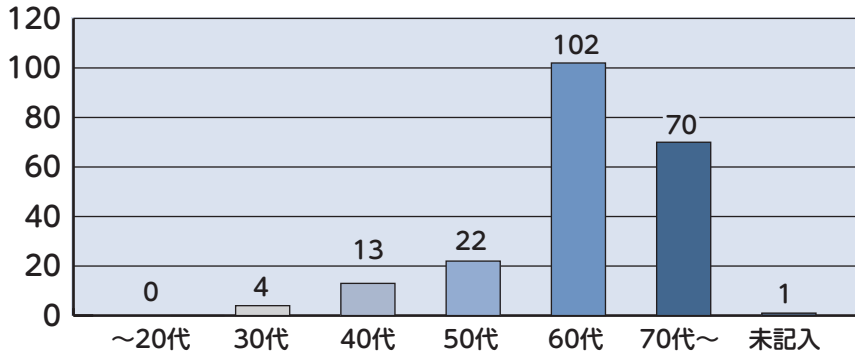


会場：大洲コミュニティセンター

各会場の参加人数とアンケート結果

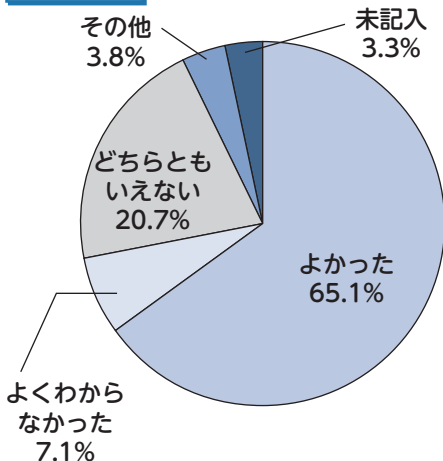
年代別

※アンケート回収数 212 人 (回収率 91.0%)

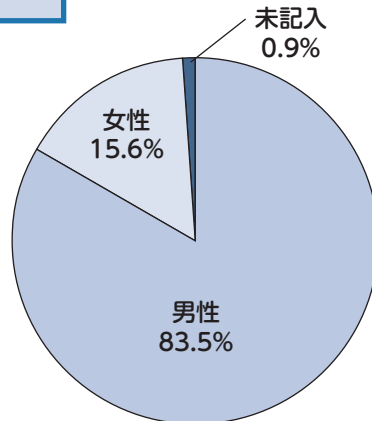


会場 (コミセンほか)	参加人数
中 央	17
西山いきいき館	30
比 角	9
高 浜	19
枇 杷 島	17
北 条	4
高 柳	19
大 洲	18
南 鯖 石	14
高 田	5
西 中 通	19
北 鯖 石	62
合 計	233

評価



男女別



市議会とは

議会報告会で「市議会の仕事は何があるの?」「どのような活動をしているの?」など、市議会の仕組みについての質問が多くありました。ここでは、市議会の仕組みについて、簡単に説明します。

「市政と市議会の関係は?」

市では、まちづくりや福祉、教育、道路など市民生活に深くかかわる仕事をしています。

これらの仕事には、市民の声がきちんと反映されなければなりません。

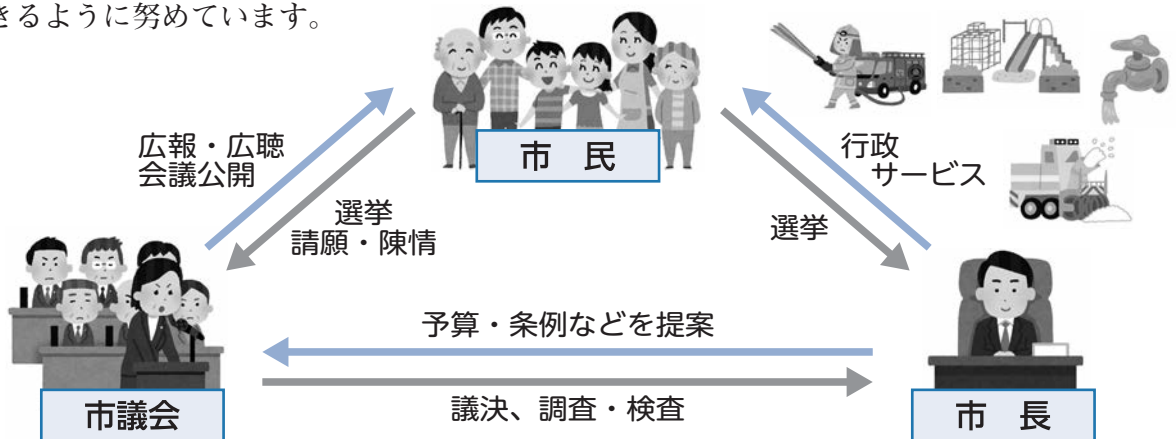
しかし、市民全員が集まって話し合うことは難しいため、代表として市議会議員や市長を選挙によって選び、市政の運営を委ねています。

市議会は、市民を代表する議員の合議によって、市政の方針を決定したり、市政が適正に行われているかチェックしたりする機関です。

なお、市議会の決定に基づいて実際に仕事を行うのは市長です。

市長は、市の仕事を計画して市議会に提案し、そこで決められたことを、市長は責任を持って実行していかなければなりません。

このように市議会と市長は、対等の立場で意見を出し合い、協力して、よりよい市民の暮らしができるように努めています。



「市議会の権限は何があるの?」

市議会は、市民の代表として十分な活動ができるように、さまざまな権限があります。主な権限を紹介します。

◎議決権

市議会の最も代表的な権限で、条例や予算を定めたり、決算を認定したり、重要な契約や財産の取得・処分決定などを行います。

◎意見書の提出権

市の公益に関することについて、議会の意思をまとめた文書（意見書）を、国会や関係行政庁に提出することができます。

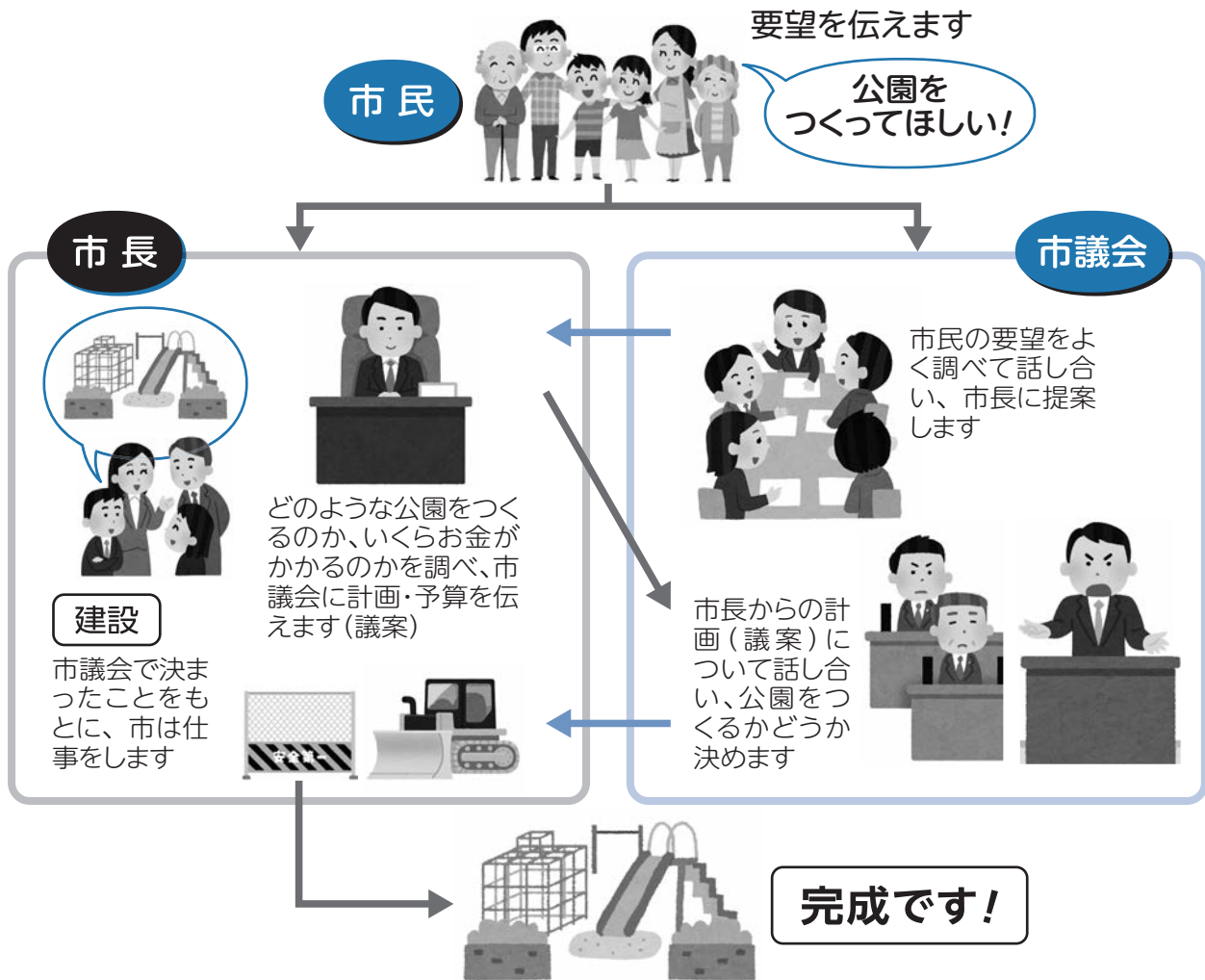
◎検査、監査の請求権

市の事務に関する書類や計算書を検閲したり、金銭出納の執行状況を検査したり、市の監査委員に監査を求めるなど、市民の代表として市政を監視します。

◎調査権

市の事務を独自に調査し、必要に応じて関係者の出頭や証言などを求めることができます。

「例：市民の公園ができるまで」



「私たちの考えを市議会に伝えたい！」

◎直接請求

一定数の有権者の署名を集めれば、次のようなことを請求することができます。

- ・ 条例の制定・改正・廃止
- ・ 議会の解散
- ・ 議員や市長の解職
- ・ 事務の監査

◎請願・陳情

市政について意見や要望があれば、市民の皆さんはいつでも文書で市議会に提出することができます。

紹介議員のあるものを請願、ないものを陳情といいます。

詳しい提出方法は、市議会ホームページをごらんください。

「市議会の活動を知りたい！」

◎傍聴

議場などで本会議や委員会の様子を直接見たり、聞いたりすることができます。

◎議会中継

本会議などの様子をホームページから生中継や録画で見ることができます。

◎ホームページ

市議会議員の名簿や議会日程、議決結果などを掲載しています。

◎議会だより

年 4 回、市議会の会議等をお知らせするため「議会だより」を発行しています。

◎議会報告会

年 2 回程度、各地区のコミセンなどに伺い、直接市民と意見交換などを行っています。

6 月定例会議

6 月定例会議は、6 月 7 日から 22 日まで行われました。審議した案件は、市長提出議案 22 件、委員会・議員提出議案 3 件、請願 3 件で、請願 1 件を除き、全て原案可決(同意・採択)しました。

可決した主な議案は、平成 30 年度一般会計補正予算、平成 30 年度下水道事業会計補正予算、市役所の位置条例の一部を改正する条例などです。

一般質問は、2 日間にわたって 11 人の議員が行いました。

議員提出議案

▼委員会提出議案(1 件)
・議会基本条例の一部を改正する条例

▼議員提出議案(2 件)

・少人数学級の早期実現を求める意見書(案)
・義務教育費国庫負担制度堅持・拡充を求める意見書(案)

※可決した意見書は、内閣総理大臣・総務大臣・文部科学大臣などに送付しました。

一般会計補正予算(第 3 号)(第 4 号)を可決

市長から、一般会計補正予算が提出され、議会は全会一致で可決し、一般会計の予算は、総額 517 億 4 千 607 万 5 千円となりました。

補正予算の主な内容は、次のとおりです。

▼職員研修費(職員 1 名を研修員として経済産業省資源エネルギー庁へ勤務させるための経費) 124 万 1 千円

▼職員人件費(職員不祥事の責任をとり、市長及び副市長

の給料月額を平成 30 年 7 月 1 月分、100 分の 10 減額)

▲16 万円

▼除雪ドーザ(11 トン級) 164 万 6 千円

▼高規格救急自動車 223 万 6 千円

▼小型動力ポンプ付積載車(9 台) 709 万 2 千円

▼高機能消防指令センター機器 1 億 4 800 万 3 200 円

▼車両動態位置管理システム機器 645 万 8 千円

市役所の位置条例の一部を改正する条例

市役所の位置について、今後の新庁舎の建設等作業を開始するに当たり、現在の中央町 5 番 50 号から、日石町 2 番 1 号へと改めました。

財産の取得

次のとおり、財産の取得を全会一致で可決しました。

総務常任委員会

平成 30 年 6 月定例会議では、議案 12 件を審査しました。主な質疑について報告します。

平成 30 年度一般会計補正予算(第 3 号)

関係人口創出モデル事業

292 万 1 千円

▼事業の概要

柏崎ファンクラブの 20 歳から 40 歳代の首都圏会員を対象

委員長 重野 正毅
与口 善之 持田 繁義
副委員長 柄沢 均
三宮 直人 笠原 晴彦
相澤 宗一
若井 恵子

に「かしわざきカレッジ@たんね」を開設し、プログラムを通して地域とつながりを深め、継続的にかかわる会員の増加を目指す事業。

▼主な質疑

問 谷根地区がモデル地区となった経緯や目的、また、事業の継続の可能性はあるのか。

答 谷根地区に市からお願

大学との連携・協働事業

360 万円

▼事業の概要

新潟工科大学産学交流会が学生一人につき 5 万円の給付型奨学金制度を設置することから、この奨学金に柏崎市出身者に給付する特別枠を設けるための寄附金。

▼主な質疑

問 この奨学金制度について要

綱、今後の方向性はどうかしているか。

答 要綱については今後、産学交流会が市の意向・目的を反映し決めていく。新潟産業大学についても新たな奨学金制度の報道があるが、説明がないのが現状で、今後の検討となる。

問 この奨学金制度の柏崎市枠の 12 人については地元要件だけでなく、成績や経済状況など、条件はどのようなのか。

答 市内企業への就職意向の確認を面接時に加えてもらうが、



新潟工科大学

できるだけ条件をつけたくないとの産学交流会の意向もあって尊重したい。

文教厚生常任委員会

平成30年6月定例会議では、議案8件を審査しました。主な質疑について報告します。

- 委員長 五位野和夫
- 副委員長 飯塚 寿之
- 阿部 基
- 村田幸多朗
- 荒城 彦一
- 星野 正仁
- 丸山 敏彦

平成30年度一般会計 補正予算(第3号)

地域生活支援事業(福祉課)

77万6千円

▼事業の概要

障がい者の日常生活及び社会生活を支援する。

▼主な質疑

問 市外グループホームを利用するに至った経緯は何か。

答 グループホームは、法律で定められたサービスであり、全国どこの自治体でも利用できる。

利用するには宿泊体験訓練を行うため、市外の施設で行った場合、そのグループ

ホームを利用することがあるためである。

保育料条例の一部を 改正する条例

▼主な質疑

問 条例改正により、区分が変わるが、保護者の負担が増額するか。

答 国の基準に合わせて市の保育料を引き下げるものであり、保護者の負担が増額になる部分はない。

にしやま保育園バスの 継続に関する請願

▼請願の概要

西山町地区の保育園送迎バスの平成30年度末での廃止に対し、その継続を求める請願。

▼審議経過など

過疎債を適用する他自治体の例もあり、地域の実情を鑑みる必要があるとの発言があったが、経緯や実情、打開策を委員会として、調査・研究する必要があり、「継続審査」とすることに決定した。

産業建設常任委員会

平成30年6月定例会議では、議案3件を審査しました。主な質疑について報告します。

- 委員長 佐藤 正典
- 副委員長 佐藤 和典
- 上森 茜
- 春川 敏浩
- 若井 洋一
- 真貝 維義
- 三井田 孝欧
- 齋木 裕司

平成30年度一般会計 補正予算(第3号)

ワークプラザ柏崎 管理運営事業

118万8千円

▼事業の概要

ワークプラザ柏崎の駐車場

▼主な質疑

問 補正予算を組まなければならないほど緊急性があるのか。

答 駐車場の外灯が点灯しないところがあると指定管理者から4月中旬に連絡があった。過去に車上荒らしの被害も発生しており、防犯上、すぐに修繕が必要と判断した。

農林水産業総合振興事業

278万6千円

▼事業の概要

この冬の豪雪により被災した、営農組合所有のパイプハウス復旧費用への補助金。

▼主な質疑

問 ことしの冬は豪雪で大変

問 今まで定期的に保守点検を行っていたのか。
答 特に定期点検などは実施していなかった。今後は、適正に管理するように指定管理者に伝えたい。

だった。営農組合等のパイプハウスが雪により倒壊したが、その復旧の詳細について説明してもらいたい。
答 倒壊被害があったパイプハウスは、16農業経営体の32棟である。そのうち本事業(県の補助金)で復旧するものは、西山町地区の2農業経営体の3棟である。

問 他の農業経営体は自力で復旧するのか。
答 被害に遭った全ての農業経営体に、県の補助金を利用するか要望調査を行った結果、2農業経営体から要望があつ

た。自力で復旧される農業経営体も若干いると聞いているが、詳細は把握していない。



雪に潰されたパイプハウス



にしやま保育園

6 月定例会議 議決一覧

Table with 4 columns: 市長提出議案, 件名, 議決状況, 議決結果. Lists various council proposals such as budget adjustments and ordinance amendments.

Table with 4 columns: 市長提出議案, 件名, 議決状況, 議決結果. Lists various council proposals including reports and ordinance amendments.

Table with 4 columns: 議員提出議案, 件名, 議決状況, 議決結果. Lists proposals from council members.

Table with 4 columns: 請願・陳情, 件名, 議決状況, 議決結果. Lists petitions and requests.

※ 議決状況の「みなし」は、その請願に対応した趣旨の意見書(案)が議員から発案され、意見書(案)を先に採択しましたので、その議決結果をもって請願が採択または不採択されたものとみなします。

※ 陳情は、議会に報告するのみで、審議はしていません。

議員賛否一覧 (6 月定例会議の採決において賛否が分かれた議案)

Table with 20 columns for council members and 3 rows for specific proposals. Shows approval (O) or opposition (X) for each member.

○は賛成 ×は反対 加藤武男議長は採決に加わりません。

一般質問

市政のことが知りたい 市政にこれを提案したい

(質問の全項目を冒頭に記載、その内容の一部を掲載しました)

市街地の活性化対策



春川 敏浩 議員

- 1 市街地の活性化対策について
- (1) 駅前通りの買い物環境の変化に伴う対策について
- (2) 中心市街地のにぎわいの創出について
- 2 移住定住促進戦略について
- (1) 移住定住窓口体制について
- (2) 地域おこし協力隊について
- 3 不審者から子供をどう守るか

イトーヨーカドー丸大柏崎

店が 8 月 19 日をもって営業を終了し、閉店する情報が報じられた。1981 年に大型商業施設として先駆的存在であり中心商店街の集客の核でもある。閉店により、地元経済界をはじめ多くの人がまちづくりへの影響を懸念している。買い物環境が変化し、近隣には復興住宅もあり、入居者の多くは高齢者である。丸大柏崎店は、建物の老朽化もあると伺うが今後注視したい。

◎市長
イトーヨーカドー丸大柏崎店は、縮小化が進む本市商圈においても一定の需要を確保しつつ、高齢者や交通弱者の支持を集めている大型商業施設であり、また、長きにわたる地域と共存し、地域に貢献もしてきた企業である。

3 月にセブンアンドアイ・ホールディングス本社に向いて関係者と話し合い、これらの点に御理解いただき、誠意をもった対応を強く要望しましたが、行政としては静観するしかない実情もある。

なお閉店後、その方向性が確定するまで一定の時間を要することが予想される。この間は、市街地循環バスなどを利用した他の商業施設の利用や移動販売事業者の斡旋など、現実的かつ合理的な手法により、その空白期間を最小限にとどめ、対処したい。

その中でも、民間商業施設なので容易なことではないとは承知しているが、市民の多く

雇用確保は最大の福祉、 若者に魅力ある職場を



佐藤 和典 議員

- 1 希望を持って働く若年労働者への支援策
 - (1) 大卒の「全就職」時代に対する対応策
 - (2) 高卒の市外流出への対応策
 - (3) 離職・転職の増加に対する対応策
- 2 スポーツ産業の振興による地域の活性化
 - (1) スポーツ施設の環境整備
 - (2) スポーツコミッションによる経済活性化

今春卒業した大学生の就職

率が、過去最高の 98% となったため、大卒のほぼ全員が就職できる「全就職時代」に突入した。市内の企業が企業間競争に勝ち抜くための地元大学からの人材確保の支援策についての見解を伺いたい。

一方、「労働者に寄り添った柔軟な働き方」や「健康経営」を推進する企業は、人材確保につなげやすい傾向にある。したがって、「長時間労働」「サービス残業」「低賃金」など、働く人にとつてのさまざまな問題・課題を取り除くことが、若者にとって魅

力ある企業と言える。労働環境のよい魅力ある企業づくりへの支援策について伺いたい。

また、若年層の技術者確保や就労支援、企業育成の環境となる「資格取得助成制度の充実策」の見解を伺いたい。

◎市長
市の新たな支援として、新潟工科大学産学交流会が設置する奨学金に対する寄附金に、今回、補正予算を計上した。これは、市内出身学生を対象とした奨学金の柏崎梓の寄附で、地元大学からの人材確保

に貢献できるものと考えます。労働環境のよい魅力ある企業づくりへの支援策について、市は、特に女性が働きやすい環境をつくり、地元の企業に定着するよう女性活躍推進事業を実施しているところだが、現在、国において議論されている働き方改革関連法案の進展を見据えた上で、必要な措置を検討したい。

資格取得支援策は、国県の人材育成制度を企業に活用するよう周知に努めるとともに、今後も就労者・企業への支援を継続したい。

市街地循環バスの高齢者割引制度を 公平性の観点からも拡大できないか



与口 善之 議員

- 1 公共交通（路線バス）利用拡大への課題について
 - (1) 高齢者割引運賃補償制度の課題と適用範囲拡大について
 - (2) バス待合所の整備状況と補助制度の活用状況と地元負担の関係について
 - (3) 健康ポイント制度と公共交通の利用促進について
 - (4) 公共交通活性化協議会のあり方について
 - (5) 路線維持のための情報を地域に理解していただくことについて
- 2 定住人口増加のための取

り組みと空き家対策について

(1) 小学校の児童数確保の視点から子育て応援住宅の整備

(2) 空き家の発生抑制と事前調査について

「かざぐるま」「ひまわり」という市街地循環バスでの高齢者割引運賃補償制度については、昨年度から市街地循環バスだけを対象として実施されている。

試行結果を見て郊外線など他の路線バスへの拡大を実施

していくというが、市街地循環バスの路線にある総合医療センターだけでなく、新潟病院への路線バスには早期に割引を適用するなど、全ての路線バスに適用範囲を拡大する取り組みの実施見通しを伺う。

また、割引回数券の利用期限と利用できなかった回数券の払い戻しができないことへの改善策を伺う。

◎市長
市街地循環バス以外の市内路線バスは、乗車区間により運賃が異なるほか、路線によ

り国や県の異なる補助制度を活用して運行している。市街地循環バスの実施結果を踏まえ、割引方法を含めて、新潟病院線を初め、市内路線全体へ平成 31 年度から拡充する検討を今年度進めたい。

回数券の払い戻しは、運行事業者の判断に基づくため、当該事業者と相談したところ、全くの未使用であれば、今年度分と交換することになった。今年度においても、使い切れないことのないよう、販売時に丁寧な説明をするよう対応をお願いしている。

ものづくり産業支援と課題



阿部 基 議員

柏崎市は平成 26 年度から中小企業者設備投資支援補助金事業を開始して、競争力の強化とものづくり産業基盤の底

- 1 ものづくり産業について
(1) 企業立地の取り組みについて
(2) 中小企業者設備投資支援について
(3) 労働力人口について
- 2 公共工事入札制度について

上げを図り、事業所への設備投資等に対して後押しを行っている。しかし、成果の確認方法に疑問を感じるが、どのように調査しているのか。

◎市長
これまでの採択事業は、毎年度、直接事業者を訪問し、進捗状況を確認している。成長分野枠に対する補助金額は、より多くの事業者の皆

現行のスケジュールでは、市の予算決定後、短期間で事業計画を作成する必要があり、小規模の事業所では対応する

者を対象条件として加え、新たな取り組みを創出している。中小企業支援は、質の高い人材の確保に対する支援も必要であると認識しており、給付型奨学金制度に市が寄附することに、高い技術や技能を修得した大学生の地元での就職を期待し、補正予算を今定例会議で上程しているところである。

来年度以降は、事業峻別において支援策のあり方を見極め、事業実施やスケジュール等について検討していく。

市営駐車場への書き込み 占有は許されるのか



三井田孝欧 議員

- 1 災害時の重機ボランティアなど専門性あるボランティアの事前検討、研究について
- 2 新成人フェスティバル会場における政治活動の是非について
- 3 市営駐車場の不適正な利用と駐車場管理条例の制定について

(3) 駐車場管理条例の制定の必要性
石地海水浴場の宿泊施設が、市営駐車場の舗装面に、みずからの宿泊施設の屋号をペンキで書き込み、恒常的に占有している実態を確認している。もしこれが許されるなら、例えば、私が住む市役所庁舎周辺の飲食店なども、自前で駐車場を借りずに市役所駐車場をお客さんに使わせても問題ないことになる。本当に市営駐車場の使い方としてよいのか。また、勝手に書き込む行

◎市長
これまで石地海水浴場駐車場は、適正に管理・利用されていたものと認識していた。恒常的な長時間使用があったとすれば、当該駐車場は、公

益的利用を目的としており、利用者のモラル、倫理という観点から好ましくない。また、駐車場舗装面に屋号がペンキで書き込まれていることは、決して望ましい状態ではなく、当該行為者へ消去を指示し、一部消去されている状況を確認した。

全市一斉「地場産給食デー」の 拡大はできないか



持田 繁義 議員

- 1 柏崎市移住・定住推進行動計画にかかわる課題について
- (1) 学校給食の無償化への挑戦について
- (2) 全市一斉地場産給食デーの拡大について
- (3) 柏崎マラソンの開催日程について
- 2 柏崎市交通安全計画における課題について
- 3 市民の移動を保障する交通確保の追求について

市は、毎年11月19日を「食の地産地消の日」と定め、市

内スーパーなどにのぼり旗を設置、普及活動を行っている。食の地産地消推進の一環に、学校給食では、この日に合わせ、「全市一斉地場産給食デー」を年1回実施している。柏崎市第二次地産地消推進計画によれば、地場農林水産物の生産量はふえているが、一方で、供給や品質が安定しない課題が残るとしている。また、活気あるまちづくりにつながるためには、「農商工連携の六次産業化の推進により、消費者のニーズに対応した特産品開発や高付加価値

化、新たな販売手法による消費需要の掘り起こしを目指す」としている。「全市一斉地場産給食デー」を2回以上取り組む体制づくりを求めるものである。この具体化によって農林水産業の振興はもとより、人づくり、ものづくりにつながる幹となると考えられるがいかか。

◎教育長

食による児童生徒の郷土愛を育むことを目的に、11月19日に「全市一斉地場産給食デー」を行うとともに、毎月

19日に地場産品を使った「えちゴンのふるさとばくもぐランチ」を実施している。「全市一斉地場産給食デー」には、生産者を給食に招くなどして、地場産への関心を高める取り組みを行っている。全市一斉は、小中学校及び保育園を対象としており、相当量の地場産品が必要である。このような事情もあることから、「えちゴンのふるさとばくもぐランチ」で、できるだけ多く地場産のものを取り入れていけるよう、関係機関と検討を進めたい。

鳥獣被害の現状と対策



星野 正仁 議員

- 1 柏崎地域の鳥獣被害の現状と課題、今後の対策について
- (1) 柏崎地域内の鳥獣被害の現状認識について
- (2) 鳥による被害の現状と対策について
- (3) 鳥獣被害防止計画の見直しと今後の総合対策について
- 2 ドローン活用の現状と可能性について
- (1) さまざまな分野で活用されているドローンの自治体利用についてどう考えているか

(2) ドローン活用での民間と市の連携事業やさらなる可能性の考えについて
(3) 誰でも手軽に飛ばせることが魅力だが安全対策についてどう考えているか
鳥獣被害という点、イノシシの農作物被害とされ、今までも一般質問において、たびたび複数の議員が質問をしている。しかし、柏崎には、ほかに多くの鳥獣があり、イノシシ以外の鳥獣により、生活被害や農水産物被害等も発生している。

ているとの市民の声がある。現状では、イノシシ以外の被害は少ないかもしれないが、今後、特にカワウの被害が増加することが予想される。鳥獣被害の現状把握と今後の被害対策、そして、柏崎市鳥獣被害防止計画の見直しについて市長の考えを伺う。

◎市長

なりわいとしての「農業」「漁業」に対しては、大きな鳥獣被害はないと考えており、市政の課題が山積している中では、一定の対策は行おうが、

大きなウエートをかけて鳥獣被害対策を講じようとは考えていない。今後は、柏崎農業協同組合及び中越農業共済組合と連携を図り、鳥獣被害の状況把握に努めたい。また現在、柏崎地域内でカワウの被害報告はないが、被害拡大のおそれがある場合は、内水面漁業関係者と連絡を図り被害防止対策を講じたい。柏崎市鳥獣被害防止計画は、被害状況を確認しながら、関係機関や被害地域代表の方々と協議し見直していきたい。

柏崎市地域エネルギービジョン のねらいと取り組み



荒城 彦一 議員

3月に完成した柏崎市地域エネルギービジョンを熟読した。よいビジョンができたこと評価したい。第五次総合計画の産業イノベーション戦略や国のエネルギー基本計画・革新戦略を踏まえたもので、これから30年の柏崎のまちづくりの柱になるものと思う。そ

- 1 「柏崎市地域エネルギービジョン」の狙いと取り組みについて
- 2 元気発信プロジェクトの総括と、今後の小売商業・サービス業対策について

ここで石油産業のまち(1. 0)からエネルギーのまち(3. 0)まで時代区分しているが、この数字の意味を聞きたい。次に再生可能エネルギーと何を想定しているのか。数多くの種類の中で、全てか、それとも本市に適したものに絞り込むということか。

また、原子力のまちとは、その将来像はどうなるのか。これまでの市長発言を整理したうえで確認したい。

最後に、脱炭素社会を目指し、エネルギーの地産地消を実現するには、太陽光の発電

能力一つをとってみても、前途に高い山と長い道のりがあるが、目標設定の考え方と達成可能性について伺いたい。

◎市長
エネルギーのまちのスタートである石油産業のまちを1. 0、原子力産業のまちを2. 0、持続可能な脱炭素社会として将来世代に向けた新たなエネルギーのまちを3. 0と位置づけた。これからの10年間は3. 0への途上として、原発と共存し、地域資源の再生可能エネルギーを最大活用

していく、再生可能エネルギーと原子力のまち(2. 5)を進める。再生可能エネルギーは、太陽光、風力、地中熱、水素、蓄電池等を考えており、柏崎の産業に結びつけたい。原発を全号機廃炉するのは現実的ではない。6、7号機は条件つきで再稼働の価値を認め、1〜5号機の廃炉計画を東京電力に求めている。また、40年ルールは堅持する。エネルギー自給率と炭素生産性の目標達成は難しいが、高い目標を掲げ、現実的なところを目指していきたい。

誰も自殺に追い込まれることのない 社会の実現を目指して



相澤 宗一 議員

- 1 新たな自殺総合対策大綱への対応について
- (1) 現在の取り組み状況と課題
- ア 市内の状況
- イ 取り組みの課題
- (2) 新たな自殺対策計画作成のポイントについて
- ア 地域自殺対策推進センター
- イ 柏崎としてのポイント
- 2 交通事故未然への対応
- (1) 交通環境の整備について
- (2) 交通マナーの指導について

平成28年の自殺対策基本法改正に基づき、平成29年3月に作成した行動計画では「具体的取り組み4つの柱(自殺の実態を明らかにする、心の健康づくりを進める、早期対応の中心的役割を果たす人材を育成する、社会的な取り組みで自殺を防ぐ)」が設定された。今まで取り組んできた事業にプラスし、それぞれ具体的事項63項目を掲げて進み始めた行動計画と認識する。自殺対策はここまですれば大丈夫というのではなく、今までの積み重ねにより現在の

取り組みになっているものと思う。安全の追及に終わりがなく、今後さらなる積み上げと改善の繰り返しを必要とする重要な施策だが、これら事業を進める上での課題について伺いたい。

◎市長
現状から見た課題として、自殺予防に関する意識啓発は、これまでも実施してきているが、市民に対し理解と関心を深めることが十分にできていないとは言えないと認識している。一人でも多くの市民が自殺の実態を知り、自殺予防の認識を持つことができるよう、関係機関と連携を強化していかなければならない。また誰もが自殺に追い込まれず安心して生きられるためには、従来の相談窓口の充実や支援の強化に加え、あらゆる視点から総合的な取り組みが必要不可欠であると考える。生きていくためのあらゆる分野が自殺対策の一翼を担っているという共通認識を持ち、仕組みづくりを進める必要性を感じているところである。

平成29年度政務活動費会計報告

柏崎市では、市議会の会派が行う市政に関する調査研究などの活動に対し、政務活動費を交付しています。議員 1 人当たり年 4 8 万円を会派に交付しています。また、残額が生じた場合は返還してもらいます。

会派名	自治研究会	市民クラブ ^(※1)	日本共産党柏崎市議員団	公明党	民社友愛
所属議員名 ※議席番号順	布施 学 村田幸多朗 加藤 武男	阿部 基 三宮 直人 春川 敏浩	五位野和夫 持田 繁義	若井 恵子 真貝 維義	相澤 宗一 佐藤 和典
交 付 額	1,440,000	1,520,000	960,000	960,000	960,000
利 息	7	5	3	2	3
収 入 合 計	1,440,007	1,520,005	960,003	960,002	960,003
調 査 研 究 費	244,377	215,230	41,890	88,367	117,347
研 修 費	0	786,226	80,430	517,800	573,918
広 報 費	742,508	0	0	0	0
広 聴 費	0	0	0	0	0
要 請・陳 情 活 動 費	0	0	0	83,500	0
会 議 費	1,886	1,886	0	0	12,990
資 料 作 成 費	0	0	0	0	0
資 料 購 入 費	0	62,038	186,605	75,636	16,850
人 件 費	0	0	0	0	0
事 務 所 費	190,512	228,490	132,517	155,280	161,182
支 出 合 計	1,179,283	1,293,870	441,442	920,583	882,287
差引残額(返還額)	260,724	226,135	518,561	39,419	77,716

会派名	柏崎のみらい	決断と実行 ^(※2)	社会クラブ	平成会	合 計
所属議員名 ※議席番号順	佐藤 正典 重野 正毅 飯塚 寿之	上森 茜 柄沢 均 与口 善之 星野 正仁 三井田孝欧 斎木 裕司 丸山 敏彦	笠原 晴彦 若井 洋一 矢部 忠夫	荒城 彦一 荒城議員は会派に所属していませんが、政務活動費は会派に交付するため、1人会派として交付しています。	26人
交 付 額	1,440,000	3,280,000	1,440,000	480,000	12,480,000
利 息	3	8	6	0	37
収 入 合 計	1,440,003	3,280,008	1,440,006	480,000	12,480,037
調 査 研 究 費	416,465	1,272,421	541,124	3,940	2,941,161
研 修 費	478,204	1,066,349	140,946	169,380	3,813,253
広 報 費	0	241,920	0	0	984,428
広 聴 費	0	0	0	0	0
要 請・陳 情 活 動 費	0	22,330	0	0	105,830
会 議 費	1,886	171,962	0	0	190,610
資 料 作 成 費	0	0	0	0	0
資 料 購 入 費	66,234	175,633	126,924	115,753	825,673
人 件 費	0	0	0	0	0
事 務 所 費	281,915	200,998	190,512	190,287	1,731,693
支 出 合 計	1,244,704	3,151,613	999,506	479,360	10,592,648
差引残額(返還額)	195,299	128,395	440,500	640	1,887,389

※ 1 「市民クラブ」は平成 29 年 6 月 1 日に所属議員 1 人が脱退。

※ 2 「決断と実行」は平成 29 年 6 月 1 日に所属議員 1 人が加入。

使
い
み
ち

調 査 研 究 費	市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託のための経費
研 修 費	研修会を開催する経費、研修会に参加する経費
広 報 費	会派の活動及び市政について市民に報告するための経費
広 聴 費	市政及び会派に対する要望などを聴くための経費、住民相談等のための経費
要 請・陳 情 活 動 費	要請・陳情活動を行うための経費
会 議 費	会派が行う会議、意見交換会など各種会議に参加するための経費
資 料 作 成 費	資料作成のための経費
資 料 購 入 費	図書、資料等の購入のための経費
人 件 費	活動を補助する職員を雇用するための経費
事 務 所 費	事務機器等の購入、リースのための経費

永年勤続議員などを表彰

次の 8 議員が、全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から永年勤続議員として表彰されました。
また、1 議員が、市功労者として市長から表彰されました。

▼在職 35 年以上

丸山 敏彦 議員

▼在職 30 年以上

矢部 忠夫 議員

▼在職 25 年以上

持田 繁義 議員

▼在職 20 年以上

齋木 裕司 議員

▼在職 15 年以上

若井 洋一 議員

荒城 彦一 議員

飯塚 寿之 議員

三井田 孝欧 議員

▼在職 10 年以上 (市功労者)

村田 幸多朗 議員

※旧高柳町・旧西山町の議員
在職期間は、2 分の 1 された
期間で合算します。

全員協議会を開催しました

▼6 月 20 日 (水)

市長から、職員の不祥事とその処分について説明を受けました。

9 月定例会議・日程予定

変更の場合は、ホームページでお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
9/2	3	4	5 本会議 議案説明・質疑・付託	6 委員会 産業建設・文教厚生・総務 (議案補足説明)	7 委員協議会 産業建設・文教厚生・総務 (論点整理)	8
9	10 本会議 一般質問	11 本会議 一般質問	12 本会議 (一般質問・予備日) (注)一般質問最終日に 平成 29 年度決算提案 議案説明・質疑 決算特別委員会	13 委員会 産業建設	14 委員会 産業建設	15
16	17 (敬老の日)	18 委員会 文教厚生	19 委員会 総務	20 (委員会・予備日)	21 本会議 委員長報告・採決 (公営企業会計決算採決)	22
23 (秋分の日)	24 (振替休日)	25 決算特別委員会 総務分科会現地視察	26 委員会 決算特別委員会 総務分科会	27 委員会 決算特別委員会 総務分科会	28 決算特別委員会 産業建設分科会現地視察	29
30	10/1 委員会 決算特別委員会 産業建設分科会	2 決算特別委員会 文教厚生分科会現地視察	3 委員会 決算特別委員会 文教厚生分科会	4 委員会 (決算分科会・予備日)	5	6
7	8 (体育の日)	9 委員会 決算特別委員会	10 本会議 決算認定議案 委員長報告・採決	11	12	13

編集後記

市議会だよりは読みやすい
ですか。議会報告会に参加し
た感想はどうですか。
広報広聴常任委員会では、
市議会を身近に感じていただ
くため、読みたくなる市議会
だより、わかりやすい議会報
告会になるよう取り組んでい
ます。

本年度の第 1 回議会報告会
を 4 月に開催しました。多く
の皆様から参加いただきまし
て感謝申し上げます。参加者
からいただいた御意見を踏ま
え、11 月に行う予定の第 2 回
については、内容や進行方法
を大きく変える予定です。
今後信頼され、期待され
る市議会であるため、日々努
力してまいります。
(笠原 晴彦)

広報広聴委員会

委員長 若井 恵子
副委員長 佐藤 正典

五位野和夫 阿部 基
上森 茜 笠原 晴彦
布施 学 相澤 宗一
飯塚 寿之 与口 善之
星野 正仁